

# 島根中央高校だより

## ふるさと学

ふるさと学始動👏 6月7日に、2年3組26名の生徒が三瓶山に登頂しました。

標高1000m



登頂目指し、登山開始



頂上まであと126m



登頂成功



しばし、お昼休憩



急斜面を下山



無事、下山完了



## 県総体報告

島根県高等学校総合体育大会へ出場しました。

前期: 5月26日~28日

### 陸上競技部

結果は、人それぞれでしたが、中国総体出場を決めることができました。今回の大会で得た課題や目標を忘れず、これからの練習に活かし、もっと強くなれるよう頑張ります。

3年 安部 暁生(川本中出身)

### カヌー部

みんな、これまでの練習を十分に発揮でき、とてもいい成績を残すことができました。インターハイに出場する選手は、学校代表として最後まであきらめず頑張ります。応援よろしくをお願いします。

3年 植出 土虎(京都府出身)

### 男子バスケットボール部

今回、勝つことはできなかったけど、練習の成果を発揮し、自分たちなりのバスケットをすることができました。最後は、笑顔で県総体を終えることができたので良かったです。

3年 服部 叶夢(石見中出身)

後期: 6月1日~3日

### 女子バレーボール部

1回戦で負けてしまい反省点もあるけど、それ以上に一人一人がいいプレーをたくさんしていた試合でした。1・2年生のみんな、これから頑張ってください!!応援しています

3年 河田 依南(川本中出身)

### 剣道部

県総体では、部員一人一人がそれぞれの思いを胸に、自分の持てる限りの力を発揮できていたと思います。改めて、支えてくださった方々に感謝をしたいと思います。

3年 矢内 紗葉(神奈川県出身)

### ソフトテニス部

天候に左右された3日間でしたが、どのペアも粘り強くプレーすることができ、悔いなく大会を終えることができました。どんなときでも支えてくれた15人の仲間に感謝です。

3年 佐々木 美遥(瑞穂中出身)

令和5年度 第1回オープンスクール 7月31日開催

昨年度の様子を少しご紹介

今年度の内容をご紹介します

🎓 模擬授業 🗣️ 先輩講話 🏆 部活動体験・見学



興味ある部活動を体験



気になる授業を体験

お申し込みはこちら




# 球技大会

6月15日に球技大会を行いました。




ラジオ体操 




アップで腕立て伏せ 




 試合前に円陣



みんな真剣 



しっかり応援 



卓球 



和気あいあい

## 新聞部コーナー

第1弾

今年度、2名の生徒が新聞部に入部しました。

中国山地の町に、「あそラボ」というまちづくりの拠点がある。都会では見られない、まちづくりの様子を見るため、早速、その場を運営する大村信望さん(34)取材した。

コミュニティカフェ「Orange」にいたのは小中高生10人ほどで、非常に賑わっていた。彼らは談笑したり、ゲームをしたり各々の放課後を楽しそうに過ごしていた。暖色の照明と木やコンクリート中心のインテリアは、現代風かつ温かみのある雰囲気醸成しており、若い人々が集う場所に相応しい空間であると思えた。

### 「あそラボ」とはなにか

「あそラボ」は、主に小学生から高校生までの放課後の居場所である「コミュニティカフェ」でありながら、同時に様々な地域活動に参加することができる。

このため「あそラボ」は、単なる居場所であるだけでなく、将来的なキャリアにも繋がるのだと大村さんは言う。

大村さんはなぜ「コミュニティカフェ」の設立に至ったのか、また「居場所」×「地域活動」という斬新で画期的な発想は一体どこから生まれたのか。大村さんの現在までの道筋を探った。

### 「地域づくり」×「人づくり」の原点

もともと大村さんは、「地域づくり」の中でも建設を志していた。日本ではなく海外での活躍を望んでいた。そんな大村さんにとって大きな転機となったのが「東日本大震災」だった。被災地支援に参加し、被災した街が再生する様子を見て、街を作るのはコンクリートではなく人間だと気付いた。街を作る人材を教育する「人づくり」の重要性を目の当たりにした。

大村さんは親の会社に勤めながら「人づくり」についての事業を模索した結果、「地域おこし協力隊」の教育分野での活動に行き着いた。しかし、教育分野での活動を募集していたのは、島根県だけであった。2017年、大村さんは教育分野で活動するべく縁もゆかりもない島根へ渡った。

島根に渡った大村さんは、地域おこし協力隊の一員として学習交流センターのコーディネーターを務めたのち、川本町で開かれたビジネスコンペティション(以下、ビジコン)に出場した。スナックの空き店舗の活用についてのビジコンで、賞金は3年で1,200万円。大村さんはこのビジコンを勝ち取り、空き店舗だったスナックを現在のコミュニティカフェ「Orange」へと生まれ変わらせたのだった。

「コミュニティカフェ」でありながら積極的に地域活動を行うという「あそラボ」のスタイルは、「地域づくり」と「人づくり」に重きを置く大村さんならではの発明と言えるのではないだろうか。

「あそラボ」のスタイルの「コミュニティカフェ」は全国的にも類を見ないため、「あそラボ」の取り組みは実験的な意味も込められている。実際、島根県知事の視察なども行われ、島根県のモデルにもなっている。「あそラボ」の今後に目が離せない。

川越 椿生(埼玉県出身)・永川 迪留(東京都出身)



## 島根県立島根中央高等学校

〒696-0001 島根県邑智郡川本町大字川本 222 番地  
TEL : 0855-72-0355(代表) FAX : 0855-72-0388  
E-mail : shimanechuo-hs@edu.pref.shimane.jp HP : https://www.shimane-chuo.ed.jp/



公式Instagramを開設!

高校の日常をより多くの方々に届けたいと思い、これまでのFacebookに加え、Instagramでも発信しています。皆さん、ぜひフォローをしてください!

